

# 届け 世界の果てまでも

令和3年10月8日

No. 35

文責 校長 飯久保一男

## 人間の心理 … 集団の中で②

※前号に続きます。

前号のアッシュ博士の実験では、同調圧力を受けたときには、**74%の人が間違った答えを言ってしまいました。**  
アッシュ博士は、この他にも様々な実験をしています。



### ■ 前号の実験

正解「A」→ 自分以外の人が全員「C」と答えた  
→ 同調圧力を受ける → 自分の考えと違う答えを言ってしまう傾向が強まる

### ■ 別の実験

正解「A」→ 多くの人は「C」と答えたが、自分以外にもう1人「A」という人がいた  
→ 同調圧力が極端に弱くなる

つまり、自分1人だけという場合は、多数派の影響を受けることが多いのですが、自分以外に1人・2人…、と賛同者がいると、多数派の影響を受けにくくなるということです。

子どもの世界でも、大人の世界でも、他の人が同じ考えだったり、同じ感じ方だったりすれば安心します。集団の一部で、そういう仲間が集まって「仲よしグループ」ができることがあります。すると、そのグループ内に同調圧力が生まれる可能性が高まるのです。そのグループからの仲間外れを恐れ、空気を読みながら話を合わせ、仲よしグループに身を置くことで安心しようとする子（人）が出てくる場合があります。自分は安全な場所にて、自分たちと違う人を排除することも起こります。これにはとても危険を感じます。グループからの排除による「いじめ」や「仲間外れ」が起こる可能性があります。これは許せない同調圧力です。いじめをなくすには、違いを認めることが何よりも大切です。自分との違い、自分とのズレ、異質なものの、異文化、違う価値観、そういったものをお互いが認め合って、「みんな違ってみんないい」「認め合えればもっといい」という思いをもつことが大切です。

学校は集団で過ごしますので、多数派の影響を受けやすく、同調圧力が生まれやすい環境にあります。授業中に誰も発言をしない中で発言をするのは勇気が必要です。逆に、周りがどんどん発言をするクラスでは発言がしやすくなります。周りが掃除を一生懸命やる集団に身を置けば、自ずと誰しも掃除をがんばるようになります。つまり、集団の心理が、プラスの方向に影響を及ぼして

「人をいじめて楽しむなんて、絶対にいけない。」

「いじめなんて、かっこ悪すぎる。」

という集団になれば、「いじめ」や「仲間外れ」は少数派となり、いい意味での同調圧力の影響を受け、やがて淘汰されるはずですが。



「自分を大切に、他者を大切にすることの育成」は、本校の学校教育目標です。「他者を思いやり、助け合う」ことが意識されれば、「人を助ける・親切にする」ことは、普通のこと・当たり前のこととなります。その前提として、何かしてもらったら「ありがとう」と感謝をすること、「あいさつ」をすることなど、常識としての当たり前の行動があるのです。

一つ一つの小さなことでも放っておくと、集団は少しずつおかしい方向に進んでしまいます。「弱い人や少数派をいじめる」という状態が生まれてしまうこともあります。集団の心理がマイナスの方向に働いてしまうのです。赤信号をみんなで渡ってしまう集団になっていくのです。

さらに集団の心理がまずい方向に影響を及ぼすと、正しい行動をしている人を「まじめぶって」「かっこつけちゃって」と批判する人が多数になり、正しい行動をすることが難しくなることすらあるのです。「荒れた」集団では、「悪ぶっている」人が幅を利かせることもあります。こうなると、完全におかしい同調圧力が影響をもち、多くの人にとっては、過ごしにくい集団になります。

お互いを認め合って、同調圧力の生まれない集団が一番望ましいわけですが、同調圧力がすべて悪いわけではありません。いじめを許さない同調圧力があってもいいのです。同調圧力が生まれる可能性を意識しながら、集団の心理がどう働いているのかを考えることは、集団を指導するに者にとって、とても大切なこととなります。



練馬区立光が丘第八小学校の鈴木隆志校長先生作成の「学校だより」から抜粋して掲載します。

※一部本文にも引用させていただいています。

次の5つの言葉の中で、どの言葉を一番「悪口」だと感じますか？

- ①まじめだね ②おとなしいね ③天然だね ④個性的だね ⑤マイペースだね

これは、静岡大学教育学部とLINE株式会社による「小中学生の情報モラル教材開発」のための共同研究の中にある設問です。中学生による回答で最も多いのは、「個性的だね」なのだそうです。中学生は、「個性的」を悪口と捉えているのです。小学校でも中学校でも、一人一人の個性を認め、個性を伸ばすことを大切にできています。それなのに、子どもたちは「個性的」を嫌がっています。 <中略>

音楽の世界では、和音を表すコードというものがあります。ドミソの和音は、「C」のコードです。このドミソに「レ」を加えたら、どうなるでしょうか。「レ」の音は9度の音なので、「ナインス」の和音・ドレミソになります。このナインス和音が妙により味を出すのです。ドミソという“同調圧力”にもめげずに、異質な「レ」が入ることで、違った空気が流れます。私のこだわりとしては、「レ」の音も大切だと思えるのです。私自身がナインスの音になりたいと思っています。

同調圧力に負けてはいけません。同調圧力を許していてもだめです。冒頭の設問に戻ります。まじめだって、おとなしくたって、天然だって、個性的だって、マイペースだって、皆よいのです。どれも悪口ではないはず。見方を変えれば、

- ①まじめ＝公明正大・一生懸命・誠実 ②おとなしい＝沈思熟考 ③天然＝天真爛漫  
④個性的＝自立自主・創意工夫 ⑤マイペース＝根気強い・泰然自若

というように、どれも長所となるのです。